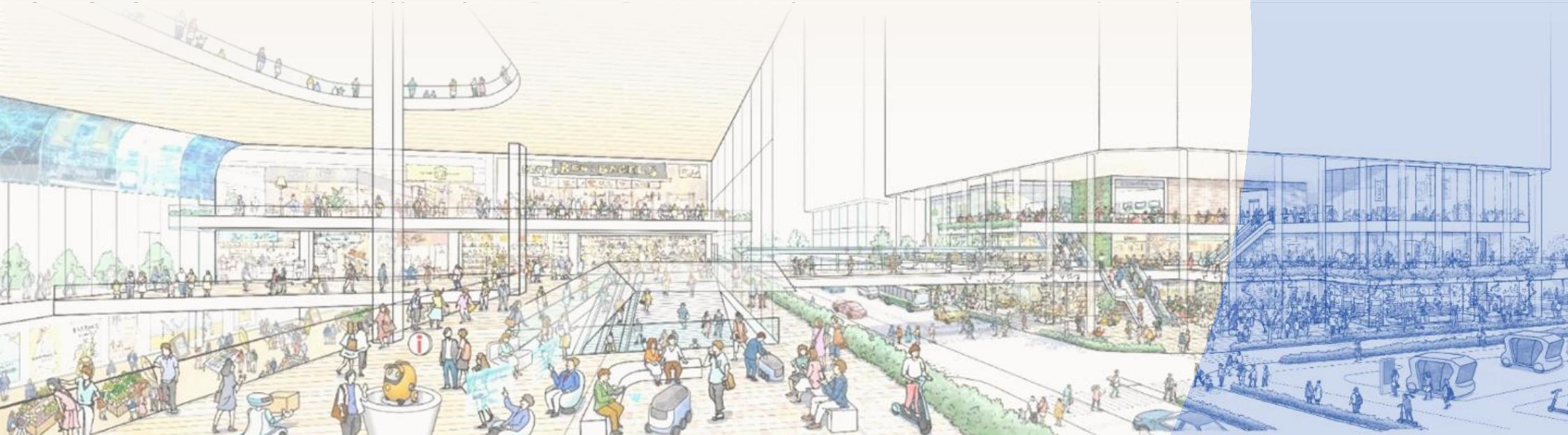




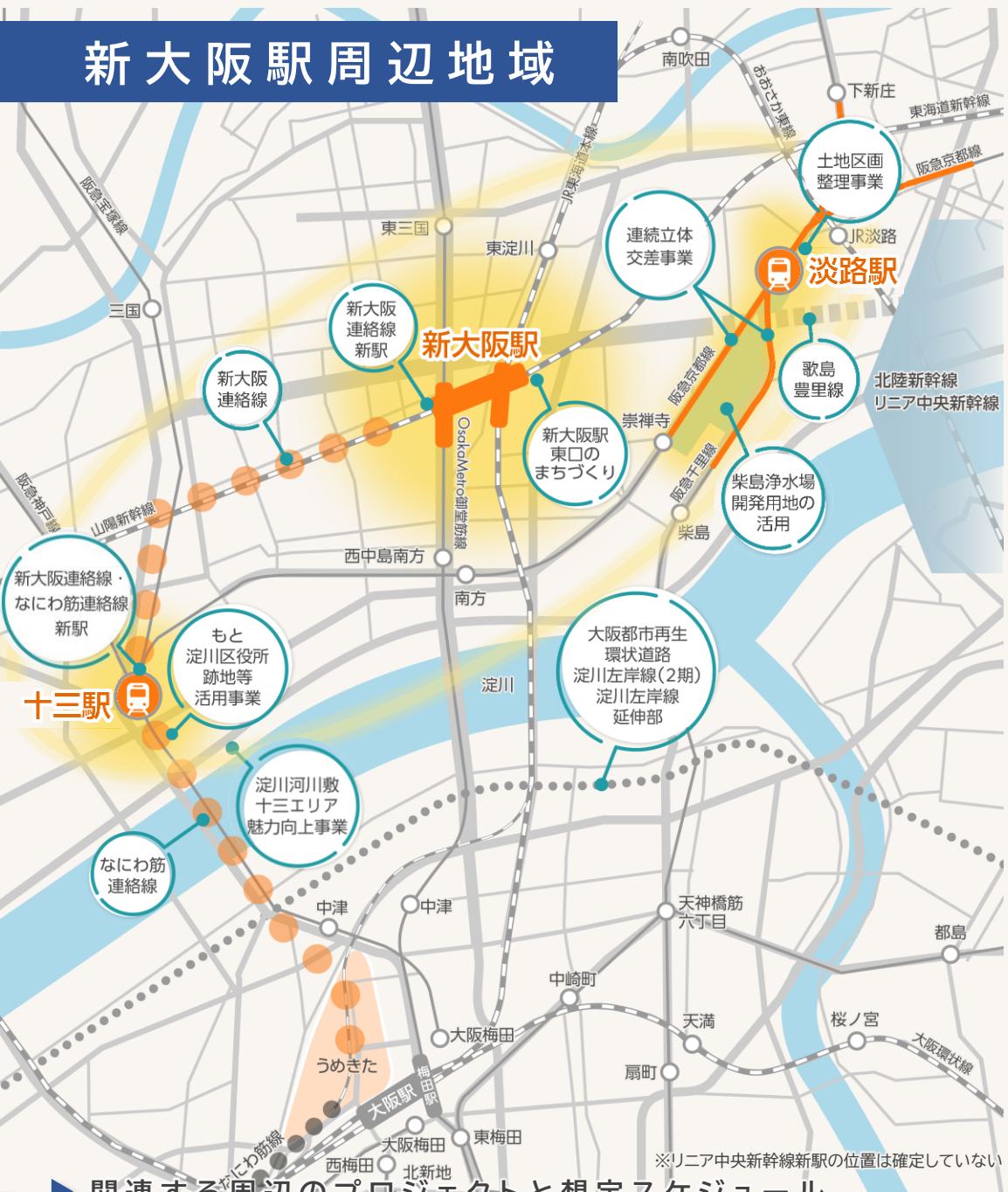
2025年1月、
新大阪駅エリアまちづくりの
キャッチフレーズが
「新しいの、その先へ 新大阪」
に決定しました。

新大阪駅周辺地域のまちづくり

世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現



新大阪駅周辺地域



関連する周辺のプロジェクトと想定スケジュール

2025年
大阪・関西万博

阪急高架化(2028年度末)
歌島豊里線(2031年度末)
なにわ筋線(2031年春)

大阪都市再生環状道路
全線完成

柴島浄水場機能集約

北陸新幹線
リニア中央新幹線
新大阪連絡線
なにわ筋連絡線

大阪で唯一新幹線駅を有し、関西の玄関口である **新大阪駅エリア**

新大阪駅周辺地域のサブ拠点であるとともに、地域のまちづくりの中心的な拠点である **十三駅エリア**、**淡路駅エリア**

今後、北陸新幹線、新大阪連絡線の新駅が想定されることや、淀川左岸線の整備などにより、広域交通の利便性が一層高まることとなる。また、将来的にはリニア中央新幹線が大阪まで整備される計画となっている。

これらのプロジェクトや社会状況の変化等に備え “新大阪駅エリア”を中心近くする “十三駅エリア”、“淡路駅エリア”の3つのエリアを一体と捉えた **新大阪駅周辺地域** の20年から30年先を見据えた新たなまちづくりを進めている。

めざすべき大きな方向性

世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現

圧倒的な広域交通アクセスの良さを最大限に活かして、人々の高密度な交流を促進し、新たな価値を生み出すことで、大阪の国際都市化のフラグシップとなり、関西、日本の発展を支える

担うべき役割と導入すべき機能

交流促進機能をもつ “日本中央回廊の西の中心”

ビジネス・産業、観光・文化・エンターテイメントなど、国内外から人が集まり、交流を促進する機能を導入することで、新しい価値を生み出し、日本の成長を支える役割を担う

交通結節機能が充実した “広域交通の大ハブ拠点”

多様な交通サービスの提供や乗り換え利便性の向上により、日本国内の拠点とアジアを中心とする世界の拠点をつなぐ人の結節点としての役割を担う

都市空間機能があふれる “世界につながる関西のゲートウェイ”

世界から訪れる多くの人を迎える国際都市にふさわしい高い魅力を持った都市空間を形成することで、関西のゲートウェイとしての役割を担う



新大阪駅エリア

新しいの、その先へ
hin-Osaka : Beyond the New



新大阪駅周辺地域のまちづくりをけん引するリーディング拠点として、駅とまちが一体となり質の高い機能の集積と居心地がよく歩きたくなるまちなかを形成し、エリアの価値の向上を図る

国内外の人々が交流し、新しい価値が 加速度的 に生まれるまち

まちのコンセプト①

北陸新幹線等の整備により広域交通ネットワークの形成が進められており、また、将来的にはリニア中央新幹線が大阪まで整備される計画となっているなど、世界有数の交通結節点となる新大阪には国内外から多くの人が集まる こととなります



駅に近接した 交流施設 や
最先端の技術を備えた 質の高い機能 の集積を図ります

国内外から人や情報が集まり、多様な交流 や 予期せぬ出会い により、新しい価値が加速度的に生まれるまち をめざします



駅とまちが 立体的 につながり、人の流れが広がるまち

まちのコンセプト②

現在の新大阪は乗換機能が中心ですが、国内外から集まる 人の流れをまちへ広げる ことが重要です



車

中心の駅前広場から、人中心の空間 を備えた 多層的な広場へと再編します

広場とまち、まちとまちを デッキ や 魅力ある低層部 でつなぎ、歩きたくなる空間 を形成します



駅とまちが立体的な空間 により、シームレスにつながり、人の流れが広がるまち をめざします

多彩な魅力が連なり、思い思いの時間が過ごせる 多面的 なまち

まちのコンセプト③

新大阪には鉄道や幹線道路で分かれた 6つのブロック があり、広域交通ネットワーク形成を見据えた、段階的なまちづくり が進みます



国内外からの旅行客が過ごす
バリエーションのある滞在機能 や 目的地となる施設 を誘導します

オフィスワーカー や 周辺で生活する人 など
日常的に新大阪に滞在する人が 居心地のよい空間 を形成します

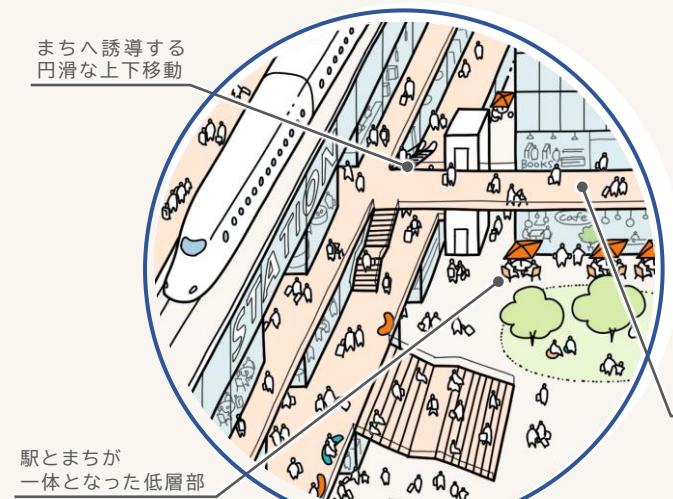


新たな機能や空間により 6ブロックそれぞれが
多彩な魅力をもち、それらが連なる ことで、
訪れる人や滞在する人が 思い思いの時間を過ごせる
多面的なまち をめざします

▶ 駅とまちが一体となった空間づくり

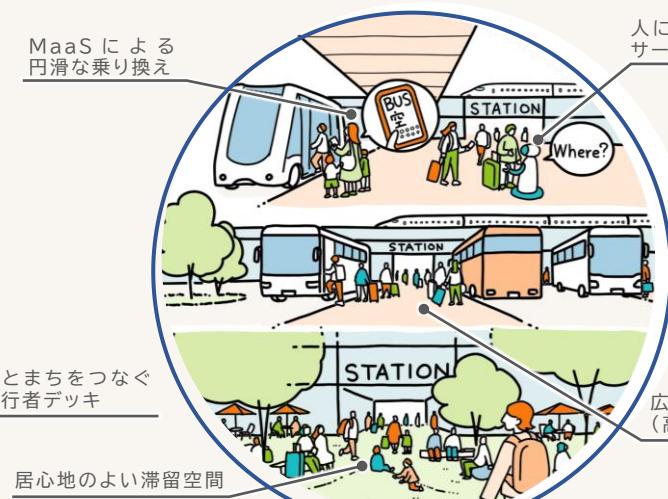
＼ 人の流れをまちに広げる 歩行者空間 ／

国内外から集まる多くの人をまちにを広げるために、駅や駅周辺の広場と民間都市開発の低層部を一体的な空間として動線を確保するとともに、にぎわいや潤いのある連続的な空間形成を図る



駅とまちをつなぐ 広域交通結節施設

鉄道や道路とまちをつなぐ役割を担う広域交通結節施設は、利便性、円滑性、快適性を高めていくために、歩行者・自動車等交通・利用者サービスの3空間を適切に配置する



まちの価値を高める 民間都市開発

大規模な建て替え、土地利用転換などのまとまりのある民間都市開発にあわせて、質の高い機能の導入や、魅力的な低層部を創出することなどにより、まちの価値を高める

